

令和3年度SDGsチャレンジサポートプロジェクト

第2学年 県内フィールドワーク

(概 要)

第2学年の探究学習委員による県内フィールドワークを実施しました。

希望者による探究学習委員は、1年次における探究活動の経験を基に、グループごとに研究主題をそれぞれ新たに設定し、年度末の探究学習発表会に向けて1年間の調査・研究を行います。フィールドワークを通して新たな発見を期待します。

記

1 目 的 フィールドワークを通じて、探究学習のテーマ設定に対する研究を深める。

2 期 日 令和3年6月8日(火)

3 事業所 筑西市役所観光振興課、人口対策課
ザ・ヒロサワ・シティ

4 対 象 第2学年探究学習委員27名

5 行 程

8:00 学校発

9:00 筑西市地域交流センター「アルテリオ」

レクチャー「筑西市における観光振興及び人口減少対策について」

観光振興課職員、人口対策課職員より

9:45 「アルテリオ」1F伊達組神輿見学、3Fしもだて美術館見学

10:35 しもだて町並み見学(散策) 観光ボランティア協会の方の案内による

11:50 「ザ・ヒロサワ・シティ」着

12:00 地元食材を使った昼食(於)下館ゴルフ倶楽部

12:50 「ザ・ヒロサワ・シティ」見学

廣澤美術館、科博廣澤航空博物館、レールパーク、恋人の聖地、クラシックカー/バイク

15:10 道の駅「グランテス筑西」見学

17:00 学校着

6 参加した生徒の感想(一部抜粋)

・筑西市は歴史ある、文化的都市であり、自分が今まで住んでいた環境では触れることがない文化に触れることができた。観光地を目標として、色々な事業を行っており、コロナ禍が収まり、多くの人が外出するようになれば、筑西市も活性化していくのではないかと思います。また、若者向けに、ファッションや食べ物に注目してもいいと思った。

・剣道の大会などで度々訪れていた筑西市であったが、つい最近までは田舎のイメージが強かった。しかし、実際にフィールドワークを行うと、そんなことは全然なく、むしろ魅力が沢山ある事に気がついた。特に、市立の美術館の存在には感激した。

観光に関していうと、Instagram など SNS を用いての情報発信は若者をターゲットに興味を持ってもらうきっかけにはなると思ったが、まだまだその効果が小さいのではないかと感じた。また、外国人観光客を呼び込むことが大きな経済効果になるとのことだったが、他言語マップを作ったとしても、実際に訪れる人が少ないままでは仕方ないと思った。そこで、PR を英語などでも展開していくと一層活気が出る街になると考えた。

歴史的にも、文化的にも重要な場所が点々と位置しているので、これらを効率よくつなぐツアーバスなども検討できると思う。

・私は筑西市についての知識を全く持たないまま筑西市を訪問した。しかし、市の方や職員の方々の熱意や仲の良さ、知識の多さなどのおかげでたくさんを知ることができ、また、楽しむことができた。人を惹きつけるための施設やイベントも熱心に考えて、実行しているように思えたが、それを市街の人や県外の人に伝えることを忘れていた気がした。今回の私たちのように、筑西市のことを学ぼうとして話を聞きに行かなければ、知ることができないのかなと思う。だから、広報、宣伝にも力を入れると筑西市の魅力はより伝わるのではないかなと思う。

・筑西市にはお神輿や美術館、ザ・ヒロサワ・シティの航空ミュージアムなど、一部の人にはとても魅力的だと思われるものが多くあることが分かった。しかし、どれも普遍的に好まれるものではないと感じた。実際、私も学校の友達で行ったから楽しめたのであって、プライベートで行っても楽しめないと思う。そこで、私は地域活性化のための方法を2つ考えた。

1つ目は、普遍的に好かれることは諦めて、鉄道ファンなど特定の客層だけをターゲットに企画を展開する方法だ。1つ強みを作ることで、他の観光地との差別化を図ることができるだろう。

2つ目は、観光地を一つ一つ別々に宣伝するのではなく、それらを結びつけて宣伝し、セットでまわってもらう方法だ。そうすれば、観光客数は増えなくとも、筑西市の魅力をよりアピールできる。

筑西市は魅力がないわけではないのだから、このまま魅力が知られないままではもったいない。宣伝方法を工夫して、より多くの人にその魅力が知ってもらえると良いと思う。

7 筑西市への提案

筑西市から、今後観光資源をどのように活用していけば、さらなる観光の振興、人口減少の歯止めが実現できるか、高校生からの視点での意見を求められました。

以下、生徒からの提案の一部を紹介します。

・先日は大変お世話になりました。筑西市の魅力がたっぷり伝わり、また筑西市に行きたい、筑西の魅力を伝えたいと思いました。それと同時に市役所やボランティア、ヒロサワシティの皆さん本気度・熱量も伝わり、地域活性化をテーマに選んだ私としては、とても参考になった、有意義な1日でした。

私は隣のつくば市に住んでいますが、筑西には一度くらいしか行ったことがありませんでした（その時は真岡鉄道に乗りに行きました）。フィールドワークの前に筑西について調べてみるとこだますいかやキングパークなど美味しそうなもの・下館祇園祭りなど楽しそうなイベントがいっぱいあったり、手厚い移住・子育て支援があったりと、全然魅力を知らなかったことを気づかされました。そもそも調べるまで隣町という意識があまりありませんでした。また、いざ筑西の街を歩いて見ると蔵など昔ながらの素

敵な建物が多く、実際に街を歩いて見ることの重要さを認識するとともに、素敵な街なのにあまり魅力が伝わっていないのはなぜだろうと感じました。

フィールドワークの最初の筑西市の街づくりの説明でInstagramのアカウントを紹介して下さったのですが、私も含め周りにはInstagramをやっていない高校生も多く、またInstagramをやっていたところで筑西市のアカウントにたどり着く若年層がどれだけいるのかなと少し思いました。だからこそ公式からの情報を、私たちが広めることが一番の若者への魅力アピールになるのかなと感じました。ですが、そもそも私たちはこのフィールドワークをするまで筑西市の魅力を知らなかったので、それを広めるなんていうことも思いませんでした。だからまずは筑西の魅力を知ってもらう機会の提供が大事だと思いました。

従って筑西の観光の振興・人口減少の歯止めのためには、若者に筑西の魅力を知ってもらう事業があるといいと思います。今回のフィールドワークでは筑西のことを調べ、筑西の魅力がたっぷり伝わったので、今回のフィールドワークのような、中高生向けの筑西のまちを歩けるイベントがあるといいなと思いました。中高生向けにフォトジェニックなスポットやスイーツ、ボリュームあるご飯などを旅程に組み込むと、中高生側もそれをSNS等で拡散しやすくなるのではないのでしょうか。今はコロナ禍で東京など大都市に行きにくいからこそ、ちょっとした友達との旅行や卒業旅行などで参加してくれると思います。また、そのイベントを地元の中高生が企画しルートを立て案内をするのもいいと考えます。自分たちの街のツアーを企画することで、より郷土の魅力を発見でき愛着が湧くのではという理由からです。これは例えば、筑西と土浦の中高生が交換でツアーを開催、みたいな形にしても面白そうだし、自分たちの探究でやってみたいです。

またこれは別の提案になるのですが、和菓子の街として筑西市をアピールしていくのはどうでしょうか。私自身和菓子が好きで、今回のフィールドワークのお土産では湖月庵さんの館最中を買わせて頂きました（とても美味しかったです）。古い街である筑西には和菓子屋さんがいっぱいあるとボランティアさんがおっしゃっていたとおり、街を歩いたりインターネットで検索したりすると、筑西には素敵な和菓子屋さんがたくさんあることがわかりました。これは結構特色であると感じたので、是非ここをもっとプッシュアップしていくといいと思います。

改めて筑西のフィールドワークはとても楽しく、多くの学びがありました。筑西市役所の皆さん、本当にありがとうございました。

・この度は、土浦一高生のために素晴らしい案内をしてくださり、ありがとうございました。ベタな案や難しそうな案しか考えつきませんでしたが、自分なりに考えたので読んでいただけると嬉しいです。

1つ目は、道の駅 グランテラス筑西にフットサル場を作ることです。この理由は、フットサル場があると小さい子供がフットサルの体験会ができたり(体験会なら芝生広場でもできると思います)、試合などをそこで行うことで、そこにあるパン屋さんなどの収入がUPすると考えたからです。

2つ目は、筑西市の大自然を活用して、農業体験を行うことです。近年、静かな場所で過ごしたいという人が増えてきていますし、割と東京からも近いので、観光客が増えるのではないかと考えました。

3つ目は、また道の駅 グランテラス筑西になってしまうのですが、芝生広場で毎年恒例化して、夏祭りやハロウィンパーティ、クリスマスパーティを行うことです。(もしすでに行なっているかもしれませんが…)

夏祭りではステージで和太鼓クラブなどに依頼して和太鼓をしたり、簡易的な花火大会をしたり、芝

生広場の周りに屋台を並べたりすると、お客さんが多く来てくれるのではないかと思います。特に、中高生は夏祭りや花火大会が大好きで、去年、コロナウイルスの影響で夏祭りに行けなかった人たちがみんな嘆いていたほど、夏祭りは中高生にとって、大イベントです。

ハロウィンパーティでは、仮装大会をすると、小さな子供から大人まで楽しめると思います。コロナが流行る前のスクランブル交差点の治安のいいバージョンというイメージです。

クリスマスパーティはサンタさんが保育園生や小学生のためにお菓子をプレゼントとして用意すると子供連れが多く来てくれると思います。

また、こういった行事に一高生なども参加させていただきたいです。学生にそこで発表してもらうとその学生の友達を呼んでくれるので、よりお客さんを呼べると思います。

私の提案は以上です。

読んでくださってありがとうございました。

8 県内フィールドワークの様子



市役所の方のレクチャー



人口対策課より



伊達組神輿見学



下館町並み見学(散策)



地元食材を使った昼食



ザ・ヒロサワ・シティ格納庫見学



国産YS11型旅客機



レールパーク(新幹線・SL・北斗星)



クラシックカー



廣澤美術館庭園にて



廣澤美術館庭園



道の駅グランテス筑西にて